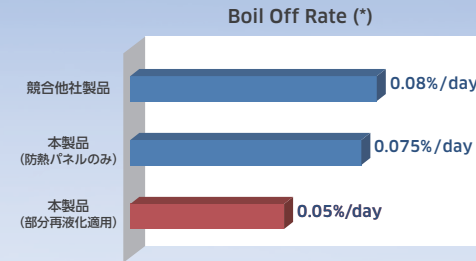


新型タンク搭載 大型LNG船

業界トップクラスの防熱性能・燃費性能・容積効率に
優れた Moss 方式大型 LNG 運搬船

防熱性能に優れた川崎パネルシステムを備えた非真球の新型カーゴタンクと、部分再液化装置を組み合わせ、世界最小の実質 BOR 0.05%/d を達成。独自の船型に二元燃料エンジンを組み合わせた燃費性能は、当社比較製品に比べ、約 15% 改善。



(*)カーゴタンクの防熱性能を表す指標で、カーゴタンクの1日当たりのLNG蒸発率を示す。値が小さい方が防熱性能が良い。



2020

Kawasaki
Ecological Frontiers
S class

2017年：初回登録

川崎重工業株式会社

製品紹介

燃費性能向上及び環境負荷低減とともに、世界中の LNG 基地への入港、新パナマ運河通航が可能な船型とし、かつ、非真球カーゴタンクの採用によって大幅な LNG 輸送量の増加を可能とした大型 LNG 運搬船

特長

- 業界トップクラスの防熱性能を有する川崎パネルシステムの採用
- 部分再液化装置を用いた世界最小の実質 BOR (ボイルオフガス発生率)
- 2軸船型、SEA-ARROW 船首形状及び低速ディーゼル機関 (ME-GI エンジン) 採用による燃費性能改善
- 容積効率に優れた非真球カーゴタンクの採用